

担い手づくり部門

群馬県前橋市 まつい 松井 としひこ 利彦 氏



○ 経営規模：イチゴ 0.7ha

(注) 数字は令和3年当時のもの

経営展開のポイント

- 松井氏は昭和48年に親元就農し、やよいひめをメインに13品種ものイチゴを減農薬栽培により生産し、観光農園や加工品の製造・販売といった6次産業化にも取り組んでいる。
- 就農希望者を研修生として受入れ、これまでに育成した研修修了生の10名全てが前橋市内を中心に就農し、イチゴ栽培に取り組んでいる。
- 1～2年間の研修期間に、栽培技術のみならず資材選定、収支計画、販売戦略などのノウハウを全て教え込むという姿勢を貫いている。日頃から農地やハウスの空き情報の収集を行っており、研修生が独立就農する際には、地主との信頼関係の醸成や直売所・観光農園の立地等の農地調達のポイントもアドバイスしている。
- 研修修了生が就農後にさらに研修生を受入れ、これまでに10名が各地域で就農しており、地域の就農拡大に貢献している。直接・間接を問わず松井氏の影響を受けた就農者と松井氏で「おいしいイチゴづくり研究会」を作り、新技術や新品種等の情報交換を実施しており、地域の産地維持や個々の経営改善にも寄与している。
- 県の品評会では「おいしいイチゴづくり研究会」のメンバーが入賞者の7～8割を占めて大賞である知事賞を受賞することもあり、研修修了生にも確実に高い生産技術が身に付いている。